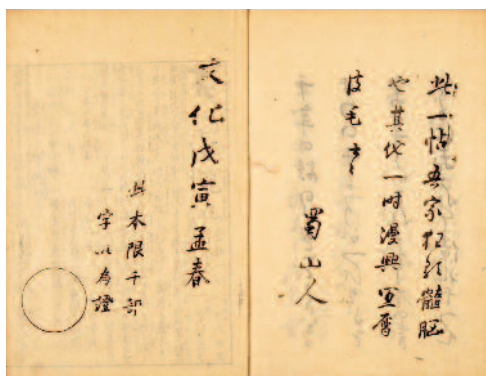
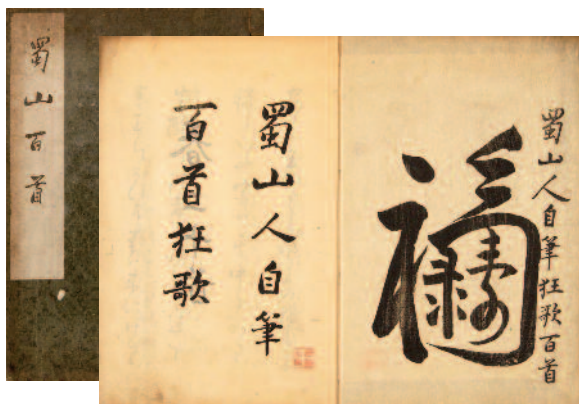


三八 蜀山百首

簽 大田南畝著

文化一五孟春刊

大二冊 二七、〇〇〇



三九

葉津わらい

簽

東菊堂籬角序編

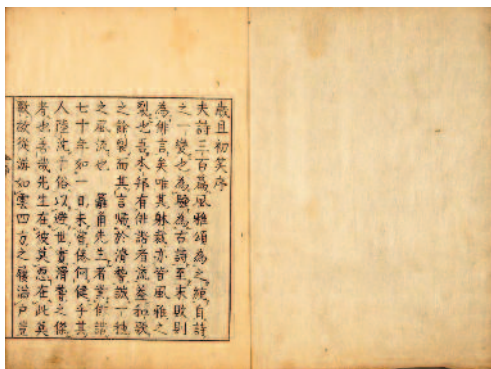
寶曆一二年元旦序

半一冊

八六、四〇〇

―内題「歲旦初笑」― 渭川／高惟明題

二四・二五頁參照



歲旦初笑序
夫詩三百篇風雅頌為之統自詩
之一變也為騷為古詩至宋歐陽
為俳言矣唯其辭裁亦皆風雅之
製也吾本邦有俳諧者流蓋初歌
之餘製而其言囑於滑稽誠一地
之風流也 羅爾先生看笑俳諧
七十年和一日未嘗何健乎其
人墮此下俗以遊世實滑稽之傑
者也蓋歲先生在彼其忍在此其
歌故從海如雲四方之羅爾戶豈





四〇 俳諧舌録 上巻 箒 元木阿弥著 文化元年序 半二冊 一〇、八〇〇



四一

耳さ羅へ集

簽

函館／椀窓布席著

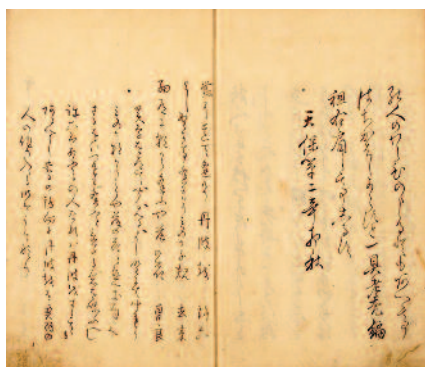
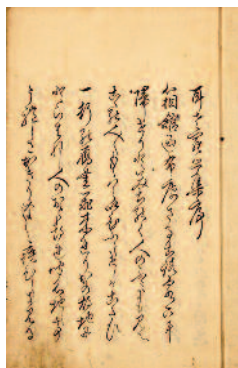
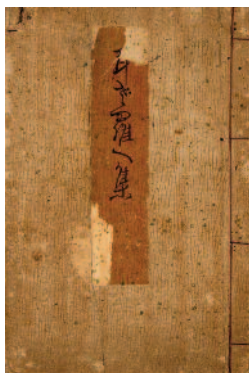
天保二年序跋

中一冊

一六、二〇〇

— 函館俳書

卷末ニヤヤ虫損



四二

麥慰舍梅通句集

乾坤

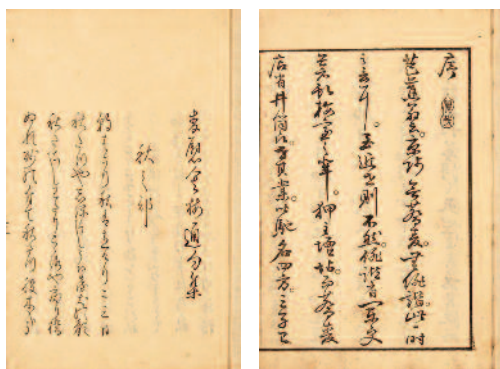
策

梅通編

安政四年秋刊

半二冊

二七、〇〇〇



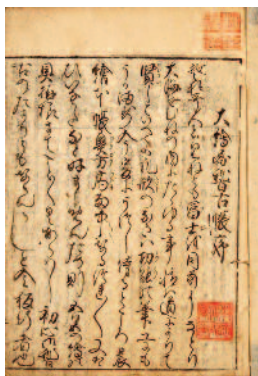
四三

繪本稽古帳 上卷（中下巻欠）

―井村勝吉画「大繪圖稽古帳」

簽欠 享保三年刊 大二冊 一〇八、〇〇〇
版心 「上一」ゝ「上十三」 喉少虫

一二・一三頁参照





四四

魚貝略画式

簽欠

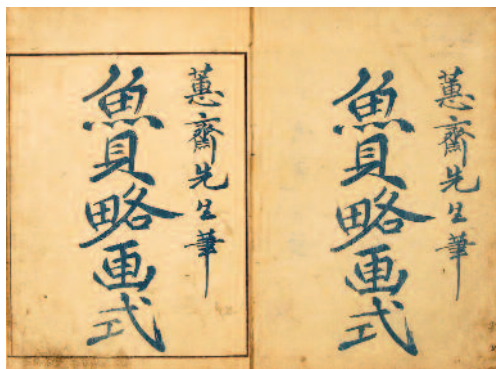
文化癸酉

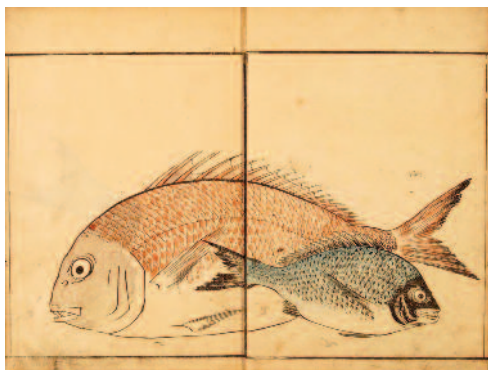
(十年) 六月刊

大二冊

二二九、六〇〇

一 鋤形蕙齋(北尾政美)筆 剗刷/春風堂野代柳湖刀 二六、二九頁參照
享和二年、東都書林/須原屋茂兵衛板ノ『魚貝譜』ヲ約十一年後ニ改題
シテ翻刻。全板ナルモ初版ニアツタ魚貝ノ詠歌ハ削除サレル。二丁二焦
ゲニヨル小穴アリ。









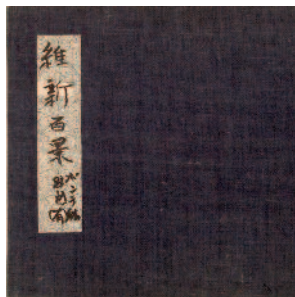
四五

明治期小口木版及小林清親ボンチ繪貼込画帖

大一帖 一〇八、〇〇〇

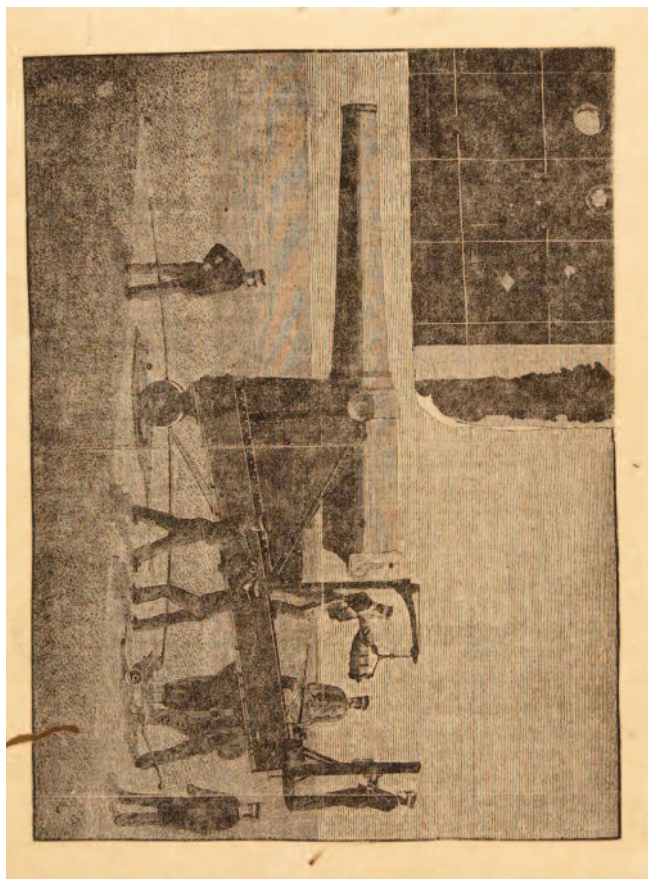
山本芳翠ノススメデ佛蘭西デ小口木版ヲ學ンダ生巧館ノ合田清トホボ同時期ニ活躍シタ水野孤芳等ノ小口木版画六二枚、清親ボンチ繪一一枚、他二枚、全部デ七五枚ヲオソラクハ明治期ニ個人的ニ貼附シタセンスアル版画帖。シカシ近年題簽ニ書カレタ題名ハセンスガナイ。

水野孤芳ハ變ワツタ經歷ヲモツ。文久三年播磨明石藩士ノ長男トシテ生マレ、繪画ヲ好ミ洋画家ヲ目指シテ東京デ本多錦吉郎ニ學ビ油繪師トナルガノチ俳優ニ轉向、水野孤芳デ初舞臺、明治廿六年川上音二郎一座ニ入り、水野譽志美、水野好美ト改名シテ俳優トシテ活躍、晩年ハ淺草東京亭デ寄席ヲ經營シタト云ウ。昭和三年歿。小口木版ト鑑定シタ内ニ石版力銅版モ混入スルカモシレナイ。明治廿年頃。少虫。五〇、五三頁參照









四六

女大學

簽欠

ヤヤ手擦レ

無刊記

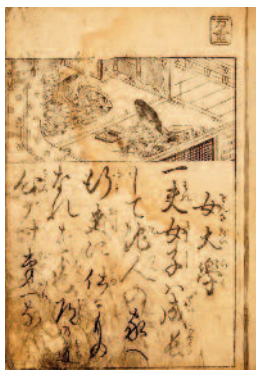
明和頃刊

大二冊 一〇八、〇〇〇

一月岡雪鼎画カ カイマラ先生述

柱題「女大がく」

六三丁









四七

渡邊華山画マクリ
―落款「華山人」。

紙本 三八×二四
「全樂堂印」朱印。

少切レ

一枚 五四、〇〇〇



四八 肉筆異人休息ノ圖



二八×四〇 江戸後期寫

二枚 三一、四〇〇



四九

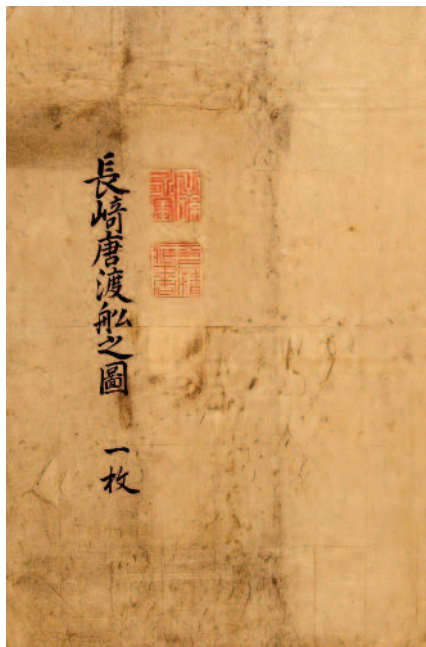
長崎唐渡船之圖

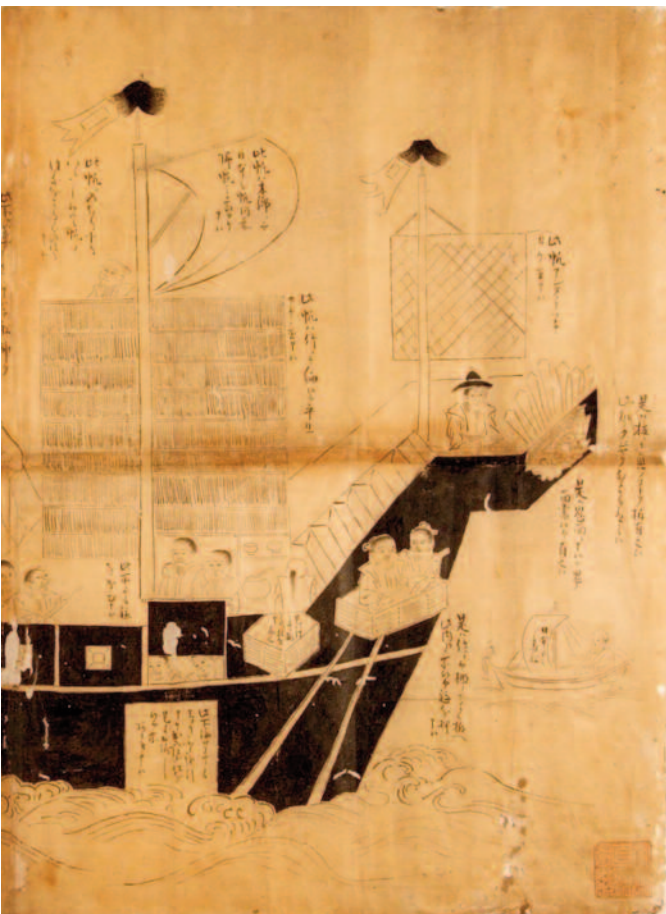
江戸中期頃寫 一枚及袋ニ由來書一通 二七〇、〇〇〇

―「平戸藩藏書」他朱印押捺及貼附。本圖五六×八一。裏打。

「長崎唐渡／平野屋船由來書／徳見茂四郎ヨリ指圖ス」。

由來書ノ長崎平戸ノ豪商石本家ノ元祖石本了雲ハ壱岐ノ生マレデ江戸初期ニ平戸ニ住ミ二代三代ト異國交易デ巨富ヲ得テ、寛永年間、四代目カラ天草ニ移リ更ニ繁榮シテ銀主トナッタ家系ト云ウ。三八・一二八頁參照







五〇

華夷通商考

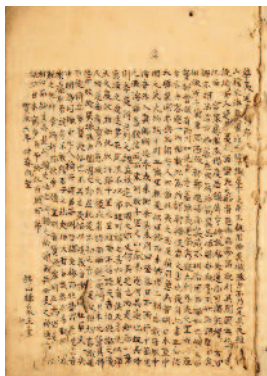
寫本廿九丁

寶永五年跋

寶永六年序

大二冊 三一、四〇〇

—長崎／西川求林齊輯 錦山樓泉生書 喉卜欄外二少虫。





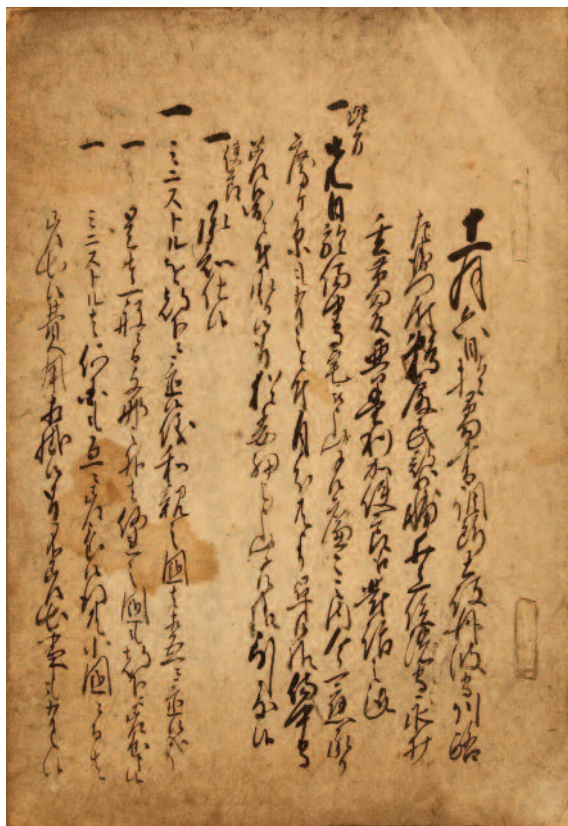
五二

一 蕃書調所於タウンゼント・ハリス對話書（仮題）
一 寫本一九丁

半一冊

一〇八、〇〇〇

三六・三七頁参照



五二

刷活

那波列翁傳初編 卷一（卷二附録欠） 簽 嘉永七刊 大一冊 一六二、〇〇〇

田原／松岡氏清風館活字板 臺川松岡權識 内題「那波列翁勃納把爾的

傳一」 和蘭國リンデン原著 小關三英遺藁譯本 菊池武貞（樺郷）画

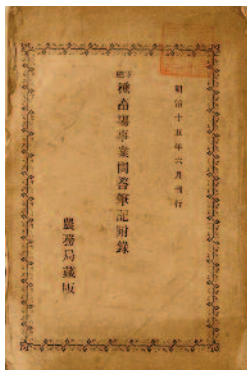
「佛朗王歌」／頼山陽 三五丁 三一、三三頁參照

吾國ニ於テ單行ノナポレオン傳ノ最初ノ刊本トシテ名高く、ナポレオンノ畫像ガ版ニサレタ最初ノモノトモ云ウ。本文ハ片假名交ジリノ木活板ダガ、卷頭ノ「附言」六丁ハ平假名交ジリノ組版ニテ、幕府中期以後ノ活字板デ平假名交ジリノモノハ稀有デ珍重スベキ。



五三

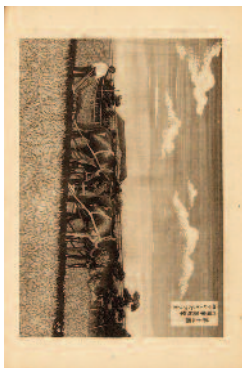
下種畜場事業問答筆記附錄
—總—
細密銅版画二六圖

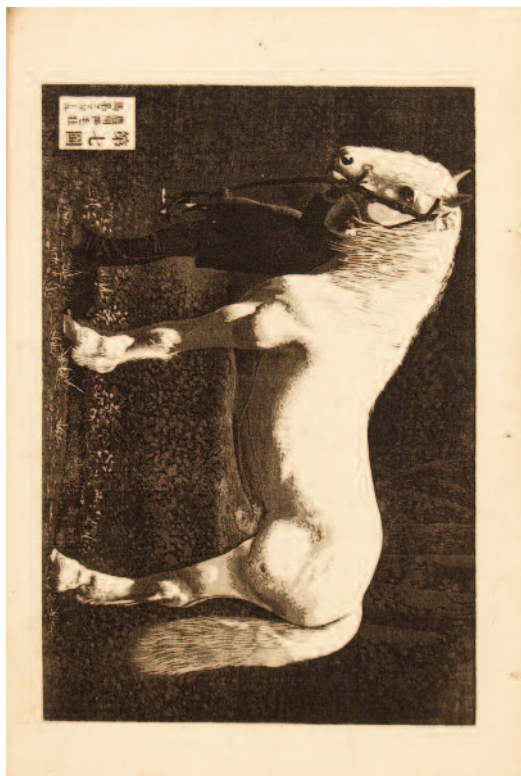


農務局藏版

明15

菊判 二一、六〇〇





五四
五五

救荒植物集説

活版九二頁

文部省報告官報拔萃明治

四六判 一〇、八〇〇

海軍機關要規

簽欠

鈴木光良編

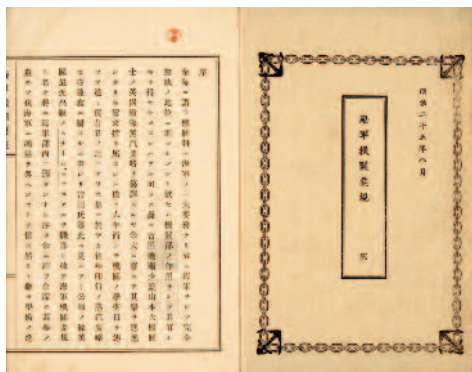
水交社

明25

半一冊 二七、〇〇〇

海軍少將從四位勲三等／有地晶之允・海軍機關少監／吉田眞一識

秀英舎 二一一丁



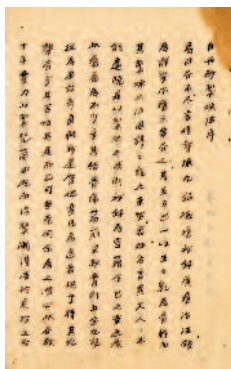
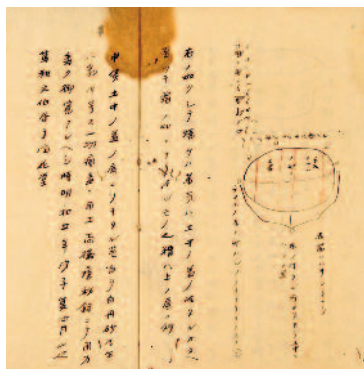
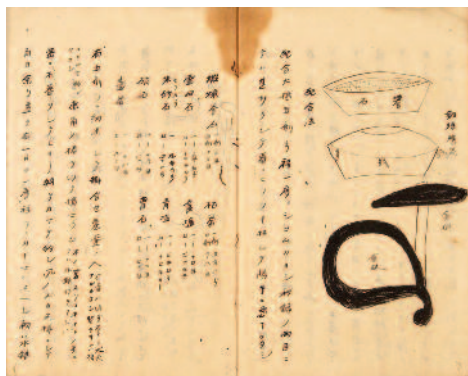
五六 白丹砂製煉法

寫本一七丁

塙寛度著

江戸後期寫

半一冊 一六、二〇〇



五七

和人參傳來之辨

寫本廿二丁

元禄一三年天秋孟寫

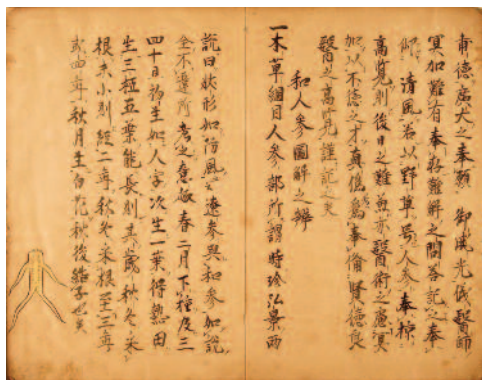
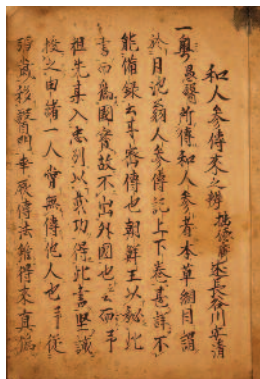
大一冊

二二九

六〇〇

述搖德齊製醫／長谷川安清

一九、二二頁參照



豫百濟新羅三國今皆屬於朝鮮
 以子於十月下種如萊種法秋冬來者
 堅實春莖來者虛軟非地產有實實
 也亦曰他處者最不足信云是則依
 地遠之證明也時珍之說雖如此亦世
 人錯認是之訛遂則喝失人參乎愚
 怖之雖不才謹按歲月更
 柳御本朝之御土地千畝之根元三

國之東方万物發生之門也故三光
 出此土焉歸此土家上之勝地先以神國
 也夫人參者陽德積靈之神草也豈
 不生神國哉撫光里明人參生更亦
 明也和參年深而堅實勝功能者御
 土地之靈德今新羅奉感辨經才不
 能伸心緒愚觀也謹而悲悼

元祿貳年歲中庚

長谷川寧清

以商賈能功之度為治療之害而已於
 是良醫苟勿憚我且欲利非損他良惠
 能功之度也盟之天神地祇諸良親
 之仁意吾聞醫者本仁也為食求願
 神農氏之勞勿私誠和人參考寸已
 之能功可否受自他之邪正其家示
 病處則幸甚猶萬世幸甚其惟在仁
 意方寸之中云已

柳歷國雖有人參數種今朝鮮之
 為國寶者歸製法而定參功故
 也愚醫所持之和參亦歸一製法定
 能功永厥傳成神國之良寶伏尚
 使清世之德化蒙百歲之下美誠
 恐誠惶謹言

千曆

元祿十三歲天秋孟

長谷川寧清

述橋德齊製經言

五八

檢尿要訣

簽

文部大助教足立寛譯述

明治初期刊

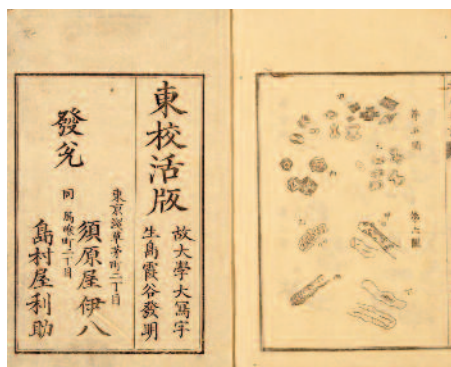
中一冊 二七、〇〇〇

東校活版／故大學大寫字生島霞谷發明

金屬活字版

文部省官版

卷首上部欄外藏書印切り取り。



五九

順天堂木札ト處方箋


明治二三年一二月一日

二点 五四、〇〇〇

一 木札ハ順天堂醫院ノ患者札デアロウカ。木札ノ大キサ九・二×四・七糎。厚サ六糎。栃木県下都賀郡ノ小平惣八ノ四十九年」。小平惣八ハ下都賀郡合戦場ノ豪農ニシテ日立製作所ノ創業者デ大實業家トナッタ小平浪平ハ惣八ノ次男デアル。

寅年七百廿五号
栃木県下都賀郡中
井賀村
小平惣八
四十九年

順天堂

明治二三年 十一月一日	方	處	藥
順天堂		塩酸規居混 〇・二 遠元錢 〇・二 健腹五那末甘草 姜ヲ以 為十五元 三圓分板	竹跡 小平惣八 四十九年

六〇

破吉利支丹

寫本一四丁 鈴木正三著

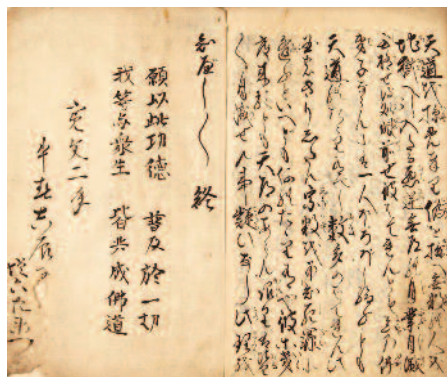
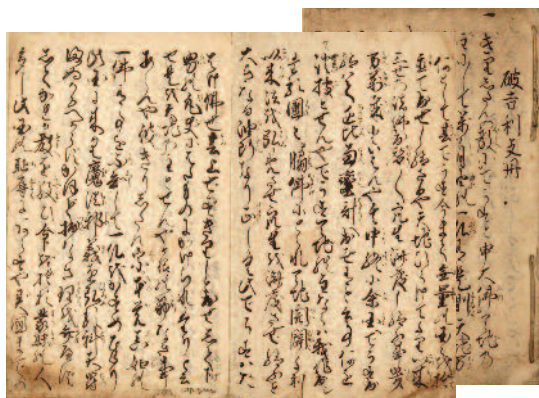
寛文二年

大二冊

五四、〇〇〇

― 稀觀書『破吉利支丹』 寛文二年刊本ノ寫。

三四頁参照



六一

米國之婦人 あめりかをむな

ボール表紙

有樂堂主人著

奥附欠明22

四六判

一〇八、〇〇〇

― 田村直臣著刊 印刷者／島連太郎 印刷所／秀英舎（國會圖書館）

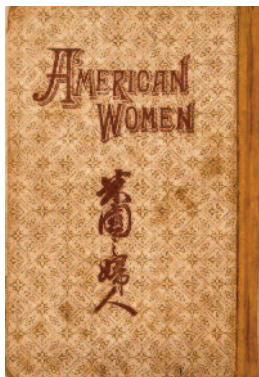
田村ハ一八九三年ニ米國ノ出版社カラ「The Japanese Bride」

（日本の花嫁）ヲ出版シタ。ソノ内容ガ「日本國民ヲ侮辱シタルモノ」トシテ教會内外デ大問題トナリ、後ニ「日本の花嫁事件」ト呼バレル大事件トナッタ。田村ハ植村正久ヲハジメ多クノ著名人や雜誌社ナドカラ激シク批判サレ長老派教會カラ追放、婦人矯風會カラハ絶版ヲ求メラレ、ツイニハ日本基督教會ノ教會法廷ニ告發サレル。

本書ハ實ハソノ四年前ニ日本語デ出版サレテイタモノデアルト云ウ。残念ナガラ奥附ヲ欠逸スルガ、奥附ノ紙片ガ喉ニ眞ッ直グ殘ッテオリ、マルデ定規ヲ當テテ意圖的ニ削除シタヨウニモ見エル。

植村正久ハ一九二五年一月ニ逝去シ、ソノ翌年一九二六年ニ日本基督教會ヘノ復歸ガ認メラレタト云ウ。

三五・一四六・一四七頁參照



(一)

序

序
わたくし
私が此書を著しました理由は、腐敗の極點に達したかども
思はるゝ男女交際の道も基督教の道徳によれば純正潔白
のものとする事が出来ることを世人に知らせたいのが一
つです。又國が異れば其國風の異なるは云ふまでもない事
ですが米國に行はるゝ男女交際の道や婚姻の仕方と日本に
行はるゝ男女の交際婚姻の仕方との間に月と日の差別の
あるは深い理由のあるのを知らせたいのが二つです。又著
書も日本には洋山ありますが、屈を述るには石の様にコ
ツ／＼諭じなければ文學の道にはづれてゐる様に思ふ御
方もありますから社會の緊要な問題を笑の中に述べます
一の方法であると思ふことを知らせたいのが三つです

序

(二)

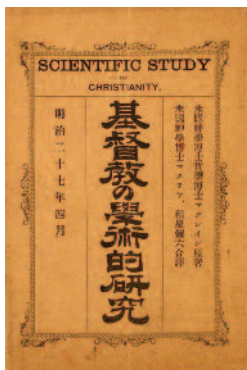
又基督教の教師と云へば、流柿を食た様に何時でも流い顔を
 を爲し、どんな可笑なことがあつても、闇魔の様に剛い顔し
 て笑ふは、教師の本分にはづれてゐる。教師は罪の事ばかり
 を語るがよいと、途方もない考を持つてゐる人もあります。か
 らさういふ御方の惑をどきたいが爲です。此書の始にハリ
 シン將軍夫人の肖像を挿入しましたのは、唯だ米國の婦人
 を示したまでの事で、何も深い理由はありません。此書が廣
 く日本の家族に入り男と女の交際の道が深くなり善良を
 家族を作る一の助ともなれば、私の幸福此上もありませぬ

千八百八十九年

明治廿二年十二月

有樂堂主人識す

- | | | | | | | |
|----|-----------------|-------------|-------|------|--------|--------|
| 六二 | 基督教ト國家 | 小崎弘道著 | 警醒社發兌 | 明治22 | 四六判 | 一六、二〇〇 |
| 六三 | バプテスト教會政治 | 米國バプテスト共同傳道 | 明治26 | 四六判 | 二一、六〇〇 | |
| 六四 | ―ベンドルトン・ヒスコックス著 | ハリントン・久代外治譯 | 明治27 | 四六判 | 一〇、八〇〇 | |
| | ―マクネヤ・和泉彌六合譯 | 印刷所／秀英舎 | | | | |



六五 福岡日本基督教會寫眞
―博多／田中寫 臺紙附

二〇×一三・五 明治期

一枚 一六、二〇〇



六六

柏木義円書簡

信州諏訪牛山傳造・濱子夫妻宛

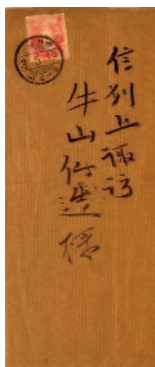
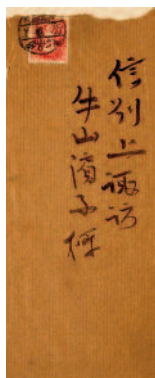
二通 一〇八、〇〇〇

―毛筆四二行・毛筆便箋二枚 大正三年・大正七年ノ消印

越後國与板藩ノ寺ニ生マレ東京師範學校ニ學ビ、群馬縣下ノ小學校ニ在職中ニ安中教會デ海老名彈正ニ影響ヲ受ケテ海老名ヨリ受洗スル。

後、同志社デ學ビ、新島襄ニ感化サレタト云ウ。明治三〇年安中教會牧師トナリ『上毛教會月報』ヲ創刊シ安中ノ地域傳道ト社會批判運動ヲ展開シ、非戰ノ思想家トシテ知ラレタ。

宛先ノ信州上諏訪ノ牛山夫妻ハ義円ト深ク親交ガアッタヨウデアル。一説ニヨルト牛山（舊姓尾崎）濱子ハ近江ノ彦根幼稚園カラ一九〇五（明治三八）年ニ前橋清心幼稚園ニ移リ、翌二月前橋教會ニ、一九一六（大正五）年ニハ安中教會ニ轉會、コノ前後ニ上諏訪ノ中學校教諭ノ牛山傳造ト結婚シタ。ソノ後、兩家ノ相次グ子供ノ不幸ニヨリ兩家ハ深く結ビツキ傳造ハ一九二四（大正一三）年一月ニ安中教會ニ出向イテ義円カラ洗禮ヲ受ケタト云ウ。



林語

俊子様は物成り迄の

年式は遊り由つてある

心ノ事ト有るが、子リ

持つ親ノ心ハ同様ニ精ニ

サノ子ノ年ハ心ニ懸んモノ

湯沼治初翁ノ如キハ孫女若

姪ノ人ノ後ハ色ノ年ハ非常

ニ懸念近年代々ホノ

定一ハ呼寄マセ成ルヲ多シ

ノ知人ニ機会アリハ其市ハ

ハハ成ニ程目出度ハ佳

ハハハハハハハハハハハハ

俊子様ハ宜シクハ懸ヒヤハ

ハハハハハハハハハハハハ

吾志ハ入ラセリハハハハハ

新ハ家成ノ上ニハ祝福ハハ

リヤハ

ハハハハハハハハハハハハ

ハハハハハハハハハハハハ

子ハ人ハ熟年ハハハハハハ

他ハ常ニハ懸念ハハハハハ

ハハハハハハハハハハハハ

待ハ述ハハハ

六七

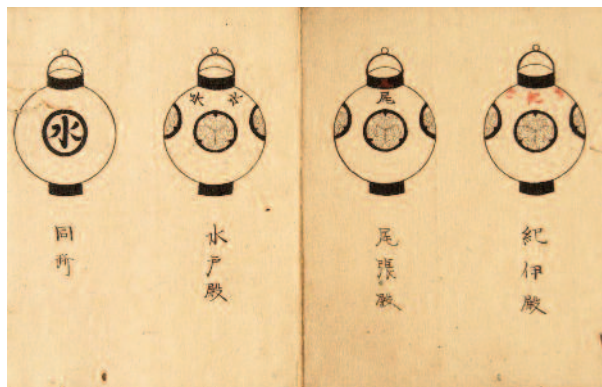
江戸火消御用桃灯定（仮題）

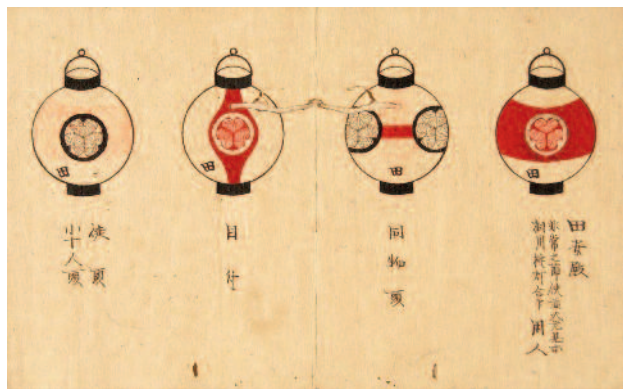
安政六年六月定卜記

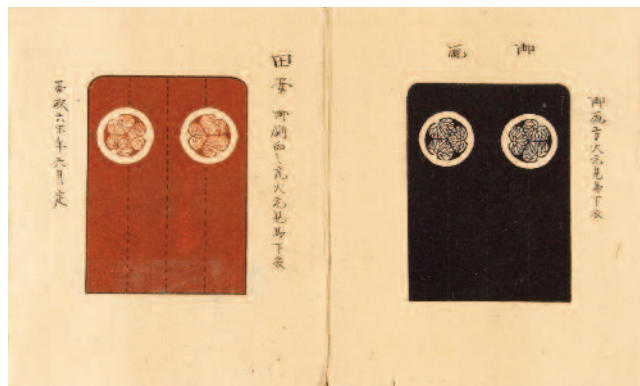
極小一帖

二九、六〇〇

裏面「御役場心得」「集場ヨリ引順」「御成先江出馬心得」四六、四九頁参照
桃灯七一圖卜他六圖。帖ノ大キサ九・二×七・五糎。少虫。







和宮様
天津流保
本御の奉教
濱姫君様御用
大谷本安左
波多新錫之助
西片岡口住持
末姫君様御用
表裏門鉄之助
辰ノ口住持
時光院様御用
吉田三郎
杉村興然
誠應院様御用
鳴田良三郎
恩田
三田中住持
精姫君様御用
標高
市
本所流保御用
祖父江孫輔



六八

紀州藩御用團扇師菱屋製古代團扇

江戸時代前期

一柄 二七〇、〇〇〇

―藤生ノ肉筆画。裏面ノ柄ノ要ノ近クニ「紀州ノひしや」ノ黒印ヲ押捺。

オソラク右ハ「こな河」カ。扇部ガ二九糎。柄ガ一六・八糎。

一説ニ現在ノ團扇ノ原型（柄ノ部分ノ竹ノ先ヲ割ッテ、紙ヲ貼ル骨ニ
スル製法）トナッタノハ室町時代末期ト云ウ。コノ團扇ハ江戸時代初期
ヨリ紀州藩ノ御用團扇師デ團扇ノ元祖的ナ老舗「菱屋」製デアル。

今モソノ技術ハ菱屋ノ末裔ニヨッテ紀州ノ粉河町デ傳承サレ、紀州三
大祭ノ一ツトサレル「粉河祭」ノ行列デ一對ノ巨大ナ粉河團扇ガ登場ス
ルト云ウ。紀州ノ殿様ノ參勤交代ノ際ハ江戸ヘノ土産物トシテ重寶シタ
ラシイ。左ニ少々切レガアルガ保存状態ハ良好。

一二頁參照





六九

新地球萬國方圖

纂

嘉永五年初夏官許特

大一鋪 二七〇、〇〇〇

湯陵／翠堂彭（中島翠堂）編述。一〇〇・五×一七八厘。

精刻彩色木版大形世界圖。表紙ノ大キサ三四×二二・六厘。

表紙ノ在筆ハ木製。保存状態ハ良好ダガ少虫損アリ。

三九ノ四一頁參照





七〇 近吾堂板 江戸切繪圖 簗 嘉永二年、安政三年刊 三〇鋪 八六四、〇〇〇

―無刊記(二鋪)・嘉永二年刊(二鋪)・嘉永三年刊(四鋪)

嘉永四年刊(一〇鋪)・嘉永五年刊(四鋪)・嘉永六年刊(一鋪)

嘉永七年刊(四鋪)・安政二年刊(一鋪)・安政三年刊(二鋪)

玉香園主人・高柴三雄誌 麴町十丁目近吾堂五平藏板 雁皮紙摺

一説ニ麴町ノ荒物屋の近江屋(近吾堂)ガ弘化三年頃カラ刊行ヲ始メ
タトサレ、一般ニ流布スル傳圖ハ萌黄色ノ表紙ノ中央上部ニ題簽ヲ備エ

ルガ、本圖ハ薄茶ノ表紙ノ左端ニ題簽ヲ備エル。大キサハ萌黄色表紙

(一五・〇×八・二)ニ對シ(一一・三×八・〇)トヨリ小形デ、非常

ニ薄様ノ雁皮紙ニ摺ラレテイル。ヨッテ三〇鋪全テヲ重ネテモ高サハ五

糰程デ、シカモ輕量、重サハ全部デ一七〇グラムニ滿タナイ(萌黄色表紙ノ

近吾堂板ハ一鋪デモ四〇グラムアル)。

永井荷風ガ小説ノ中デ尾張屋板ノ江戸切繪圖ヲ懷中シタ話シハ有名デ

アル。オソラクハ目的地ヲ選ンデ懷中シタト思ワレルガ本圖デアレバ全

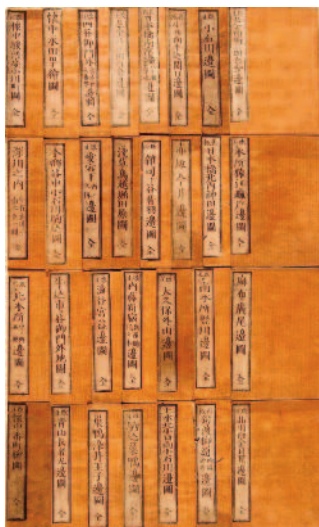
テヲ懷中デキタデアロウ。

殆ドノ題簽ノ角書キニ「改」マタハ「板」トアリ參考圖デ示シタ「小日向小石

川牛込地圖」ハ本圖デハ「小日向牛込関口邊圖」「小石川邊圖」ト二圖

ニ別レテオリ一般ニ流布スル傳圖トハ全ク別物ノ「近吾堂板江戸切繪圖」

ト考エラレル。



近吾堂板ノ成功ヲ見テ繪草子屋ノ尾張屋（金鱗堂）ガ眞似テ切繪圖ノ販賣ヲ始メ、錦繪ノヨウナ彩色等ノ華ヤカサカラ人氣ヲ得テ現代デハ近吾堂板ノ數十倍ノ傳存數ヲ誇ル。尾張屋板ニスツカリオ株ヲ奪ワレテシマッタ近吾堂板ハ更ニコンパクトニシテ改正ヲ加エテ販賣數ノ挽回ヲ圖リ本圖ヲ刊行シタモノト考エラレルガ本圖ノ稀少性が示ス通りニ全ク叶ワナカッタノデアロウ。

保存状態ハ頗ル良ク極美品デアルガ、二舗ニ極僅カノ虫損ト一舗ニヤヤ虫損ガアルモノノ虫損箇所ガ幸イ密集地デハナイノデ欠字ハ僅カデア

ル。 四二、四三頁參照・★注、萌黄色表紙ノ「小日向小石川牛込地圖」ハ含マレマセン。



【左ガ萌黄色表紙ノ流布版・右ノ二舗ガ雁皮紙版】



【萌黄色表紙・通常ノ和紙摺】







七二

分間江戸圖鑑

簽 小形圖

五三×六一

天明改正

一舖 三三、四〇〇

一 日本橋通三町目古文字屋次郎兵衛





七二 改正掌中太日本圖 簽 銅版彩色 四八×三五 明9
―著述／長谷川深藏 校正／早川忠直 出版／木村正五郎
一舖 二一、六〇〇

七三

肉筆極細密地圖ノ一括

明治廿二年前後寫

七枚 一六二、〇〇〇

―「徳川氏柳營眞圖／文久元年三月製圖」(五四×三八)・「第二江戸往

古之圖」(二七×三九)・「第三長祿年間江戸圖」(二七×三七)

「第四寛永江戸圖」(二七×三九)・「尾張殿高田戸山屋敷繪圖」

(三五×三九)・「北海道圖」(二七×三八)「沖繩島圖」(二七×三九)

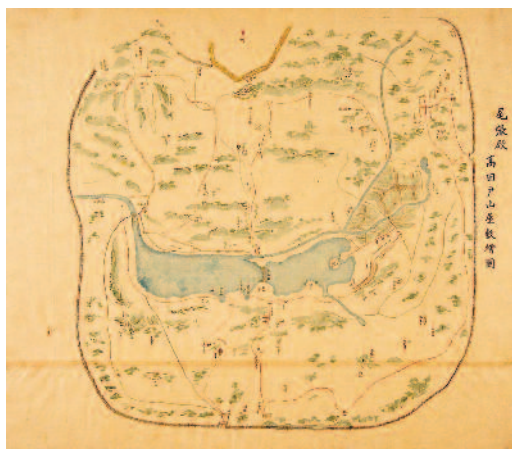
雁皮紙。天野康邦記。江戸期ヨリ百人一首ナドヲ米粒ヨリモ小サナ文字
デ書イタ細字資料ヲ希ニ見カケルガ、コレハソノ細字ノ技法デ地圖ヲ模
寫シタモノデソノ集中力タルヤ凄マジイ。

四四、四五頁參照

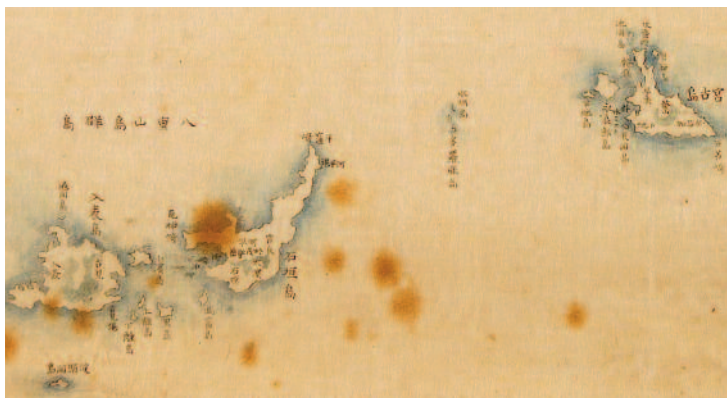


【部分圖／ホボ原寸大】









【部分圖／ホボ原寸大】

七四

二十四輩參詣記

—寶曆七年序

皇都書林

／吉野屋爲八板

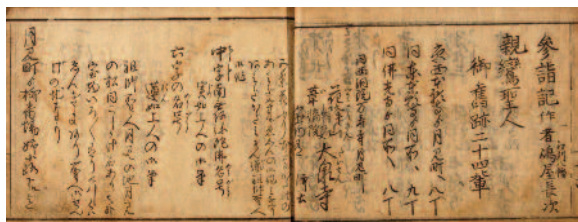
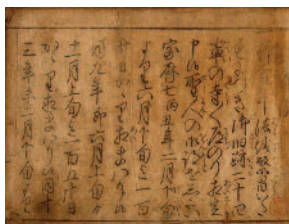
題簽欠

嶋屋長次作

無刊記

小横二册

三三、四〇〇



七五

大坂下り籠細工

少穴

三六×四八

文政二年頃刊

一枚 五四、〇〇〇

細工人ノ浪花ノ一田正七郎 大坂書林ノ中川五兵衛・江戸書林ノ英平吉
文政二年大坂ノ籠職人一田正七郎ガ江戸浅草デ興行シタ見世物ガ大當ト
ナッタトキノ摺物。一説ニソレガ「江戸の敵を長崎が討つ」ノ俚諺ノ由
來トナッタノダト云ウ。



七六

古今茶人系譜

三二×四三

江戸中期刊

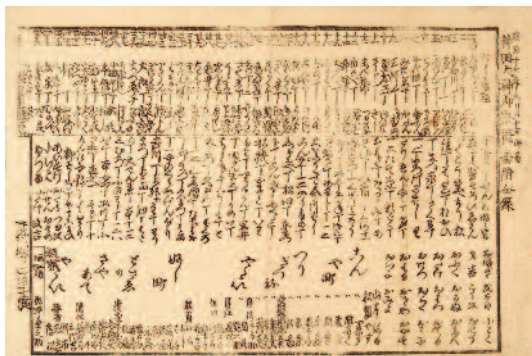
一枚 二七、〇〇〇

七七

一 東都府南大練舎桃林藏板
神田大神御祭禮番附□録
一画工兼出板人／佐野金之助

明治一七年九月一日御届

一枚 二七、〇〇〇



七八 第三回内國勸業博覽會役員姓名表 三四×二四 明33 一枚 二七、〇〇〇
 | 審査顧問官外國人／獨ワグ子ル・英ブリンクリ・米フエノロサ・佛レナ
 ルド 淺草區／黒川萬吉發行

第三回内國勸業博覽會役員姓名表

審査顧問官外國人／獨ワグ子ル・英ブリンクリ・米フエノロサ・佛レナ
 ルド 淺草區／黒川萬吉發行

明治三十四年三月二十八日

七九 大日本獨案内
八〇 内外貿易出納大略

五三 × 三七
五〇 × 三四

岡田常三郎
岡田常三郎

明 明
2020

一枚 一枚
一二、九六〇
九六〇



八一

義勇雜誌

第一〇二〇號

佐藤一誠編刊

明31

菊判二〇冊

二一、六〇〇

福島縣信夫郡福島町／義勇雜誌社



名雲書店發行新刊のご案内

英和對譯袖珍辞書原稿影印

文久二年江戸開板・慶應二年江戸再版 限定200部

名雲純一編 影印本／堀孝彦序及び解題（堀達之助玄孫）洋書調所・開成所刊行。初版が全体量の3%強・再版が約8分の1（122頁）全文全情報を原寸カラー印刷で影印。A4判・上製函入り・背ボックスキン・マール紙特別装釘。183頁2007年7月7日発行。

定価／本体 120,000円＋税



英学史上空前の発見！

◎茂住實男

日本英学史学会長・拓殖大学教授

第一級の歴史的史料であり、辞書編纂者らの格闘の跡を残す校正原稿からは、編纂に係わる数々の情報が読み取れる。西洋文明の理解やそれに伴う英語訳語の選定過程など、英学史研究にとって又とない機会の到来である。早くも編纂着手時期の再検討や編纂従事者の追加の必用も指摘され、幕末期の欧米文化、文明摂取に係わるいくつもの新事実がもたらされるであろう。その調査・分析は、今ここに始まる。この貴重な文化遺産の公刊を喜ぶたい。



維新変革の重み！

◎宮地正人

東京大学名誉教授・元史料編纂所長・前国立歴史民俗博物館長

このような第一級史料がまだ存在していたのか、というのが率直な感慨である。幕末史では攘夷運動・倒幕運動史研究に重点がおかれがちだが、特に學術分野の近代化は幕府の果たした役割が大きく、その中心が英日辞書の編纂事業であった。その過程での労苦と辛酸をなによりも雄弁に本史料が語りかけている。影印本刊行をよろこぶと同時に、維新変革の重みを国民が理解する上で、原史料も然るべき機関で常設展示されることを切望したい。

訳語研究に朗報！

◎飛田良文

全国大学国語国文学会理事・国立国語研究所名誉所員

元国際基督教大学大学院教授・博士

『英和对訳袖珍辞書』の校正原稿が発見された。近代日本語研究にとって大きな喜びである。文久元年のころ、蕃書調所の堀達之助（辞書編纂代表）のもとに、同僚の西周助や箕作麟祥らが英語の稽古に通った。この原稿は、これらの知識人がオランダ語から英語へ移り変わっていく現実を反映する第一級の資料で、この発見が契機となって、辞書史、訳語史、さらに翻訳史の研究へと一段と発展することを期待している。

ワールド・アンティーク・ ブック・プラザ in 東京！

丸善日本橋店 3F 10:00~20:00 (元日を除いて年中無休)

〒103-8245 東京都中央区日本橋 2-3-10

2011 年 11 月 25 日 OPEN!

世界 11 カ国、20 店の古書肆のプラザが丸善日本橋店にオープンしました。

弊社名雲書店もプラザのメンバーとして出展しております。

お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

World Antiquarian Book Plaza in Tokyo!

Located at Maruzen Nihonbashi Bookshop 3rd Fl.

Plaza Members

- ◆ Between the Covers Rare Books, Inc. (U.S.A.)
- ◆ Cathay Bookshop (China)
- ◆ Rodolphe Chamonal (France)
- ◆ Cornstalk Bookshop (Australia)
- ◆ Antiquariat Winfried Geisenheyner (Germany)
- ◆ Antiquariat Inlibris GmbH (Austria)
- ◆ The Isseldo Booksellers (Japan)
- ◆ Herman H. J. Lyngé & Son A/S (Denmark)
- ◆ Maruzen Co., Ltd. (Japan)
- ◆ Nagumo Shoten (Japan)
- ◆ Oak Knoll Books (U.S.A.)
- ◆ Libreria Pontes (Spain)
- ◆ Jonathan Potter Ltd. (U.K.)
- ◆ B & L Rootenberg (U.S.A.)
- ◆ Bertram Rota Ltd. (U.K.)
- ◆ Rulon-Miller Books (U.S.A.)
- ◆ Dieter Schierenberg b.v. (The Netherlands)
- ◆ Sokol Books Ltd. (U.K.)
- ◆ Antiquariat Steinbach (Austria)
- ◆ Antiquariat Weinek (Austria)
- ◆ Michael Weintraub, Inc. (U.S.A.)
- ◆ Yushodo Co., Ltd. (Japan)





ヤマトフィナンシャル株式会社

お支払い方法についてのご案内

※クレジットカード決済
(メールアドレスが必要です)

※お届け時クレジット払い



クレジットカードをご利用のお客様は詳しくはホームページをご覧ください。

名雲書店ホームページ <http://www.nagumosyoten.jp/>

※お届け時電子マネー払いがご利用になれます。

■ご利用いただける電子マネーブランド



宅急便 コレクト お届け時電子マネー払い

ご購入者が商品を受け取る際、電子マネーでお支払いができます



平成廿八年七月十五日發行

正價二千圓

發行人兼編輯

群馬縣高崎市八千代町一丁目八番三號

名雲純一

印刷所

群馬縣高崎市島野町八九〇番地二五

上武印刷株式會社

發行所

群馬縣高崎市八千代町一丁目八番三號

名雲書店